

あいめーる

WINTER

愛隣館通信

令和3年2月5日発行
発行
社会福祉法人 愛隣園
障害者支援施設 愛隣館
発行責任者 三浦貴子
編集 広報チーム
キャリアーピジョン

〒861-0551
熊本県山鹿市津留2022
TEL 0968-43-2771
FAX 0968-43-2793
http://aileans.com
E-mail
ailinkan@magma.jp



当館より徒歩5分、彦嶽宮にて

帰りは散歩もかねて少し遠回りし、愛隣園にあるヤギ小屋を見学して帰りました。

そして、去年からの「コロナ騒動で、「めっくろ家族」に会いたくない」「外出して美味しい物を食べに行きたい」など利用者の皆様もストレスが溜まってきているようです。一刻も早く世界中から新型コロナウイルスが無くなり、今年一年良い年でありますように・・・。



玄関前：職員（福山）手作り門松に並んで

謹んで新春をお祝い申し上げます。

このコロナ禍、無事にお正月を迎えられた事を嬉しく思います。

一日(金)、二日(土)の二日間、愛隣館から歩いて彦嶽宮(下宮神社)へ初詣に行きました。今回はソーシャルディスタンスをとれるよう少人数での参拝になりました。

彦嶽宮へは五分ほどですが、最後まで上り坂となっています。利用者・職員共にいい運動になりました。

下宮神社に着きまずはお参りました。「早くコロナが収まりますように」「今年一年健康で過ごせますように」など、様々な思いがこもった参拝になりました。その後は、神社の方から「ほう茶やみかんをふるまって頂きました。ある利用者の方は、「今年は甘酒じゃないだね」と小声でつぶやかれました。

初詣に参加された樋川さんは、「今年一年健康で過ごせるようお願いしたいし、健康祈願のお守りを買ったので無事に一年過ごせるでしょう」と言われていました。

新年を迎えて入居者「初詣」

ケア課 サブチーフ 竹下 真二



館長 三浦 貴子

冬号
コロナ予防戒体制の中、今年の年末年始は寒さが厳しかったので、お休みとなる通所愛隣倶楽部に居ついている白黒ネコの安否が、少し気がかりでした。

令和3年(2021年) 一めあい 通信隣愛
通りすがりに見るのですが姿がありません。どこで年越ししたのかを、先日利用者の方に教えてもらいました。通所事業所から500m離れたグループホームの周りで過ごしていたのです。食べ物ももらえた様子です。

昔母から、ネコは家に居つくくと聞いていたのですが、そのネコは普段グループホームから通所事業所に通う、人に居ついていたのでしよう。

社会資源の活用が上手だなと感心しました。人の車に乗り込もうとするなどひどく人なつこく、ホルスタインに似た白黒柄から、利用者の方々に「ウシ」と呼ばれているネコ。千支のように縁起良く思えてきます。



陶芸の愛隣工房では毎年、全旨の方々もその年の千支を制作されています。生まれて一度も牛を見たことはないけど、先生の見本を触って覚えた小川さん

ん(八十三才)のモーモー(牛牛)著置き。手びねりで、素早く作り上げる触覚の確かさには感動します。

制約のあるコロナ下でも、生活の楽しみを大切に安全なサービスを提供し続けたいと願うばかりの新年です。

そして、食堂の大きなガラス窓に面して設置した面会所。直接会えない申し訳無さと、ガラス越しでも伝わる家族の温もりを感じています。みんなで力を合わせ、何とか無事にコロナ危機を乗り越え、この一年を終える頃には、普段の暮らしに戻れることを祈ります。



新しい仲間

入居者 山本 葉奈

昨年九月に入所いたしました山本葉奈と申します。来年度の四月から大学生活が始まり今はその準備で追われています。ですが、たくさんの方のサポートを受けながら少しずつではありますが着々と準備を進めていっております。

昨年からコロナと水害とたくさんさんの経験をして生き苦しい世の中で、ここまで支えてくださった方に感謝しながら残りの施設での生活を充実させたいと思っています。たくさんさんの先輩方にもお話し

を聞きながら、今よりもっと毎日が楽しく送れるようにしていきたいと思えます。

これからどうぞよろしくお願いいたします。

新人職員紹介



ケア課 鳴山 昌子

こんにちは、八月十一日から、愛隣館でお世話になっている鳴山と申します。

今まで、介護の仕事をしたことがなく、初めての事ばかりでも不安な気持ちでしたが、周りの方々に助けてもらいながら、少しずつですが、仕事も覚えてきています。

まだまだ覚える事がたくさんあります。仕事の流れもそうですが、人との会話で言葉足らずで、誤解を招く様な事もあります。謙虚な心を忘れずに、仕事を早く覚えて、頑張っていきます。どうぞよろしくお願ひします。



ケア課 小山 かおる

こんにちは、九月一日より愛隣館の生活サービス部でお世話になっている おやまと申します。

介護の仕事は多少は経験があったのですが、今迄とは比べ物にならないくらい色々な技術、知識が必

要でした。「頑張ろう」と気合いを入れてきたのですが逆に空回りしてしまいました。

今は、先輩の皆さんに熱心に指導して頂き少しずつですが覚え慣れて来ました。

まだ利用者、職員の方々の名前を全部覚えていませんが、気軽に声を掛けてもらえたらと思います。又、「ひとつひとつを丁寧に取組み頑張っていけます。どうぞよろしくお願ひします。」

クローズアップ愛隣館⑩

ケア課

松本 誠

愛隣館に生活支援員として配置になり、二年になるうとしています。今でも勉強になる事ばかりで、仕事内容についても、新鮮な体験が多く圧倒されるばかりです。

朝食の介助に始まり、通院支援、入浴、トイレ介助等、色々と変化があり楽しい毎日を過ごしています。これまで丁寧な御指導いただいた愛隣館の皆さまには、感謝しています。

まだまだ寒い日が続きますが、体調の管理に努めて、入所者の皆さんと楽しい時間が過ごせればと考えています。



これからも体力の続く限り生活支援員として頑張っていきたいと思ひます。

どうぞよろしくお願ひ致します。

夜間想定避難訓練

ケア課

中野 大清

十月二十二日(木)三号館個室での火元を想定したの夜間想定避難訓練が行われました。夜勤者四人での対応でした。

私の役割として、火災発生時の消防署への連絡、入居者の避難を担当しました。消防署への連絡時は、まず始めに「火災である」ということをしっかりと伝えることが大切と、反省会にて山鹿消防署よりアドバイスを頂きました。



入居者の避難では、避難誘導はスムーズに行えましたが、実際の火災などの時には入居者全員の避難が必要になるので、普段から入居者の状態を把握し、安心安全に避難できるようにすることが大切だと感じました。

また、私は今年本館に移動になり初めての立ち合

いでの避難訓練だったので、防火扉の閉め方や消火器の場所など新たに確認することができました。今回の避難訓練を通して、防災意識を高めることができ、良い経験となりました。

スーパームーン交流会

児童指導委員

松本 薫

十二月五日(土)、児童通所支援事業所スーパームーン交流会を開催しました。児童、保護者、職員総勢約五十名の参加があり、とても温かい雰囲気の中開催されました。交流会では、三浦館長の挨拶から始まり、普段療育で行っているあつまりを保護者の方も一緒に体験してもらいました。

その後愛隣農園に場所を移し、お天気にも恵まれみかん狩りを行いました。理事長や館長にみかんの採り方を教えて頂き、子ども達もハサミを上手に使い採っていました。途中、みかんを食べた子ども達は「おいしい」「や「あまーい」など感想を言い合い、自分たちで採ったみかんはより一層おいしかった様です。

今後とも児童、保護者、スタッフとの交流が深まる



よくな楽しい企画を計画したいと思えます。

くまもと障がい者芸術展

十二月二十二日(火)～二十六日(土)熊本県立美術館分館にて開催のくまもと障がい者芸術展に、本館、テイクア、愛隣倶楽部の皆さん合計三十七名が、陶芸、手芸、絵画、写真、パステルアートの作品を出展。コロナ禍の為、外出が中止となり観覧はかないませんでした。全盲でテイクアご利用の高根英子さんが阿蘇の大草原の牛の仲良し家族たちをイメージした陶芸作品「なかよし家族」で、ハートウィーク賞を受賞されました。

冬号 令和3年(2021年) あいめーる 愛隣館通信

この作品には、高根さんの新型コロナウイルスの沈静化を祈って、陶芸講師の境先生と一緒に作成したアマビエさまが牛の家族を見守っています。

テイクアをご利用の小川ハツ子さんは、くま

もと障がい者芸術展をピーアールするNHK熊本にて陶芸作品「モーモー箸置き」が紹介されました。



左：小川ハツ子さん 右：高根英子さん

クリスマスディナー

ケア課 池松 知京 ちひろ

令和二年十二月二十四日(木)、愛隣館では静かにクリスマスディナーが開催されました。

例年通りであれば、利用者と職員で一緒にディナーを楽しみ、盛大にセレモニーが行われるのですが、今年は、新型コロナウイルスの影響で縮小せざるを得ない状況だった為、感染対策を行った上で利用者の方々のディナーのみで開催されました。



私は、今回サンタの役でディナーに参加されていた利用者の方や、各居室でディナーをとられた利用者に三浦館長・田中部長と一緒にプレゼントをお配りする事が出来ました。クリスマスに皆さんの笑顔が見られて良かったと思います。

労働安全衛生委員会

十一月は「ストレスチェック」を実施。高スト

ス者は産業医(山鹿温泉リハビリテーション病院・田代医師)との面談を促します。十二月は、西看護師による「感染症」についての講話。

令和三年一月は「職場環境改善」がテーマ。改善箇所等の見直しを宜しくお願いします。

お知らせ

◆バレンタイン家族報告会

例年二月に開催のバレンタイン家族会は、コロナ感染防止対策のため書面報告としてご家族へ郵送させていただきます。

◆愛隣館西側道路拡張工事

愛隣館と愛隣荘の間の岩野川へ向かう道路が拡張工事(十一月十六日より一月二十一日まで全面通行止)中。この「あいめーる」がお手元に届くころには、これまでより、広く安全に配慮された地域の主要道路になっていることでしょうか。楽しみです。



(1月21日午前撮影)

『あいめーる』の企画・編集は利用者で構成された広報チーム、キャリアビジョンが担っています。